

「令和新時代に求められる経済政策 ～平成の教訓を踏まえた骨太の問題提起～」(要旨)

＝ 伝えたいことは令和の経済活性化のための問題提起 ＝

- ・平成は、わが国が世界経済の大変化から取り残された時代。新興国はわが国にキャッチアップ。先進国は独自の進化。わが国経済はいわゆるバブル崩壊後、長期にわたって停滞。イノベーション力も低下。
- ・学ぶべき教訓は、安定志向の弊害、根拠のない楽観・思い込み、社会への脅威に対する鈍感さ、俯瞰力・長期構想力の欠如、大胆さを欠いた制度改革、大場より急場を余儀なくされた経済財政政策、通用力が低下した日本的経営など。
- ・令和新時代は、根本に立ち返った経済財政政策、経済社会全般の制度・構造改革、企業経営の創新等が求められる。中部経済界として、日本経済の再起について幅広い観点から問題提起したい。

平成経済の回顧

《大変化を遂げた世界、停滞した日本》

- ・ベルリンの壁崩壊とともに平成が開始
- ・一人当たり GDP が世界最高クラス入りから低下へ
- ・アジア NIES、BRICS、特に中国の急激な成長
- ・欧米先進国の成長鈍化、「長期停滞論」の登場
- ・リーマンショックで世界経済大打撃
- ・米国の GAFA、中国 BATH の台頭
- ・世界的なデジタル経済の進展

《人口減少、少子高齢化、首都圏への集中》

- ・人口ピークアウト、減少へ。少子高齢化が進展
- ・生産年齢人口の減少
- ・労働参加率の上昇で労働力人口は大きく減少せず
- ・外国人の増加
- ・首都圏への人口の集中

《経済の変調と変容 - 企業活力の低下》

- ・バブル崩壊後、長期低迷に転じた日本経済
- ・デフレ進行
- ・工業社会から情報社会へ
- ・勝ちパターンが通用しなくなった日本企業
- ・強い現場と弱い本部
- ・技術で勝ってビジネスで負ける、ガラパゴス化
- ・すり合せ技術から組合せ技術へ
- ・垂直統合一貫から水平分業への流れに乗り遅れ
- ・IT 化、イノベーション、経営革新の立ち遅れ
- ・生産性の低迷
- ・非正規雇用の増加、所得格差の拡大
- ・時代変化に合わなくなった労働雇用慣行
- ・働く者の労働意欲、エンゲージメントの低下
- ・過当競争と進まない企業の新陳代謝
- ・産業空洞化、輸出立国の終焉(?)

《科学技術・技術開発力の低下》

- ・劣化した科学技術力、有力論文数と研究者の減少
- ・研究者の身分の不安定化
- ・IoT、AI、ビッグデータ等の分野の出遅れ
- ・高度人材の育成と活用ができない風土

《デフレ対策・景気対策に追われた政府・日銀》

- ・景気対策のための頻繁な財政出動
- ・デフレを食い止める金融緩和策、異次元緩和
- ・財政赤字の持続、政府累積債務の増大
- ・進まぬ構造改革、規制制度改革

《疲弊する地方経済、一人勝ちする東京》

- ・東京一極集中の進展、地方の人口減少・限界集落
- ・分断化する G 型経済と L 型経済

《激甚化する自然災害、劣化するインフラ》

- ・自然災害の多発化、広域化、激甚化
- ・劣化が進む社会インフラ、維持コストの増加

平成の教訓

《弊害の大きかった安定志向》

- ・自分たちを変えようとする意欲の欠如
- ・不都合な事実から目を逸らそうとする態度
- ・内向き志向の増加

《根拠のない楽観、思い込み》

- ・日本は先進国であり続けるに違いないという楽観
- ・日本は新興国に負けるはずがないという思い込み
- ・人口減少、高齢化の影響に対する政府の認識の甘さ
- ・経済社会への脅威やリスクを察知する政府機能の不全

《弱い俯瞰力と長期構想力》

- ・長期的展望、ビジョン、構想力の欠如
- ・世界の変化の行く末を見通す洞察力の欠如
- ・世界の変化を察知する敏感さの欠如
- ・細部に拘り大局を見ようとしぬ姿勢、俯瞰力の欠如

《大胆さを欠いた制度改革》

- ・制度改革・構造改革の大胆さの欠如

《大場より急場を余儀なくされた経済財政政策》

- ・経済財政政策における重要課題より緊急課題の重視

《日本的経営の通用力の低下》

- ・企業における成功体験への拘り
- ・国際競争力の低下を認めたくない心理
- ・企業における日本的経営の過信

令和の課題

《あらかたの問題の根源である人口減少への対応》

- ・人口高齢化問題への対応
- ・人口減少問題への対応

《自然災害からの国土の守り》

- ・地震、台風、火山噴火等の自然災害への対応

《社会インフラの老朽化への対応》

- ・老朽化したインフラへの対応

《将来世代の禍根となる政府負債のマネジメント》

- ・巨大化する政府負債の縮減・管理

《科学技術力、企業活力の復活》

- ・科学技術力、研究開発力の再生
- ・産業構造の高度化、スマート化
- ・企業活力の再生
- ・大学教育、高校教育、義務教育の改革

《社会に対する脅威やリスクの早期察知》

- ・経済社会に対する諸々の脅威やリスクの早期察知
- ・環境保全、生態系の保護

《人々の希望・生きがい・幸福の増進》

- ・希望の持てる新しい社会像の共有
- ・人々の希望・生きがいの増進
- ・働き方の自由度の向上
- ・人々の心の苛立ちや閉塞感の解消
- ・所得の個人間格差の是正
- ・経済の地域間格差の是正
- ・人口の地理的偏在の是正

令和のための重要な問いと答えとしての問題提起

問い1：国家的重要問題の見落としを防ぐ国の機能をどう実現すべきか

- 答え：①社会への脅威を網羅的に把握する政府機能を実現する
- ・包括危機管理機関の創設 など
- ②長期的時間軸でものを見る政府機能を実現する
- ・フューチャー・デザイン担当機関の創設
 - ・参議院におけるフューチャー・デザインの尊重 など

問い2：国の存続にかかわる巨大リスクにどう対応すべきか

- 答え：①大規模自然災害リスクに対応する
- ・防災省の創設
 - ・政府機能継続計画（GCP）の整備 など
- ②財政破綻リスクに対応する
- ・PPBS の本格導入
 - ・政策評価機関の創設
 - ・独立財政機関の創設
 - ・歳入庁の創設
 - ・裁量的財政政策からルールに基づく財政政策への転換
 - ・EBPM の採用
 - ・年金問題を政争の具としない合意形成 など
- ③人口激減リスクに対応する
- ・人口減少を食い止める対策
 - ・人口減少を前提とした対策 など

問い3：社会構造のどこを問題とし、どう変革すべきか

- 答え：①流動性の高い労働市場構造を実現する
- ・労働雇用慣行の是正 など
- ②過当競争の起こりにくい市場構造を実現する
- ・大胆な規制制度改革
 - ・中小企業の合併推奨 など
- ③新陳代謝が起こりやすい産業構造を実現する
- ・中小企業の円満な廃業の容易化
 - ・起業の活性化 など
- ④東京一極集中という国土の空間構造を是正する
- ・国土形成計画の改定
 - ・広域地方計画の真摯な推進 など
- ⑤デジタル化に対応した経済社会構造を実現する
- ・デジタル経済社会担当機関の創設
- ⑥地球環境重視の生産・流通・消費構造を実現する
- ・環境に負荷をかけない消費生活スタイルと生産スタイルの追求
 - ・地球温暖化防止に資するエネルギー選択と利用

問い4：人々の人生選択の自由度はどうすれば高められるか

- 答え：①働き方の多様化の中のフリーランスという人生選択を支援する
- ・フリーランスを許容し支援する制度の整備
- ②再挑戦、学び直しという人生選択を支援する
- ・人々の学び直しが生かされる企業側の努力 など
- ③人生選択を保障する社会保障制度を整備する
- ・キャリア権の尊重
 - ・セーフティネットの整備

問い5：企業活動のダイナミズムはどうすれば復活できるか

- 答え：①日本的経営を問い直す
- ・意思決定スピードの引上げ
 - ・雇い方改革、支払い方改革
 - ・人材育成・投資の積極推進
 - ・経営への科学の一層の取入れ など
- ②生産性向上、経営創新を図る
- ・カイゼン型アプローチと創新の併用 など
- ③規制改革、新制度創設、スクラップアンドビルドを図る
- ・規制改革に関する統合的で強力な推進組織の創設・整備 など
- ④人材育成の本質の見直しを図る
- ・問題を解決する能力と問題を立てる能力の強化 など